

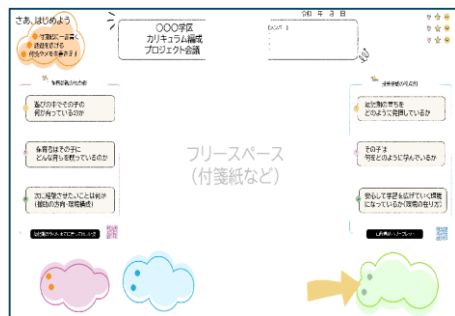
作成・活用方法

学年	5歳児	小学1年生
目指す子供像	STEP 1	
育みたい資質・能力	STEP 1	
	「自発的な活動としての遊び」を中心とした生活を通して総合的に学ぶ 教科等の学習を通して具体的に学ぶ	
	国語 算数 生活 音楽 図工 体育 道徳 特別	
大切にしたい経験	STEP 2	
配慮事項等	STEP 3	

適宜資料を活用



幼小リーフレット「つなぐ」詳細版 (R3年度に各所へ送付)



架け橋カリキュラムデザインシート (R5年度に各所へ送付)



幼保小架け橋プログラム (文部科学省)



幼児期の教育と小学校以降の教育の円滑な接続 (山形県)

STEP 1

目指す子供像
育みたい資質・能力



STEP 2

大切にしたい経験
中心単元・単元構成等
配慮事項等



STEP 3

評価
振り返り



STEP 4

PDCAサイクルの確立



- ①「目指す子供像」は、自治体の支援のもとで幼保小が協働して作成する。
- ②「資質・能力」は、①を具体化した姿として幼保小が協働して作成する。
* 保育参観を通して子供観等を更新しながらみんなでカリキュラムをデザインしていく。
* 2年間というスパンで協働して描いていく。



- ①各幼稚園・保育所・認定こども園等及び小学校が、それぞれ作成し、実践する。
- ②作成にあたっては、既存資料（下記参照）そのものを更新し、実践するやり方も考えられる。

教育課程・全体計画・指導計画・保育計画
アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム 等



- * STEP 1で協働作成した際の「視点」「共通理解した方向性」「共有した教育観」「子供の実態」等を丁寧に踏まえながら各園校で作成し実践する。
- * 各園校においてカリキュラム・マネジメントの充実を図り、実践の改善につなげていく。
- * 幼児教育側は教育要領・保育指針等の着実な実施を念頭に幼児期にふさわしい教育の実現を目指す。
- * 将来的には協働で再編成していくことが望ましい。

- ①年間を見通して、各校園で行う。
- ②実効的なカリキュラムを目指し、振り返りのタイミング等、工夫して行う。



- * 連携体制等の状況に応じて、各園校及び自治体が協働して行うのが効果的である。

- ①年間を見通して、保育参観・講義及び協議等を含む研修会を計画しながら、再編成（リニューアル）する。
- ②持続的かつ発展的な連携体制及び取組みとなるよう自治体を中心にスキームを描く。



- * 幼児教育の本質と、それを接続していくことへの深い理解と確かな共有が大切である。
- * 園校長のリーダーシップのもと進めていくことが重要である。